

テクノロジー×業務知識×データ活用でお客様の行動変革を実現する
「データ活用プラットフォーム」ソリューション・事例紹介資料



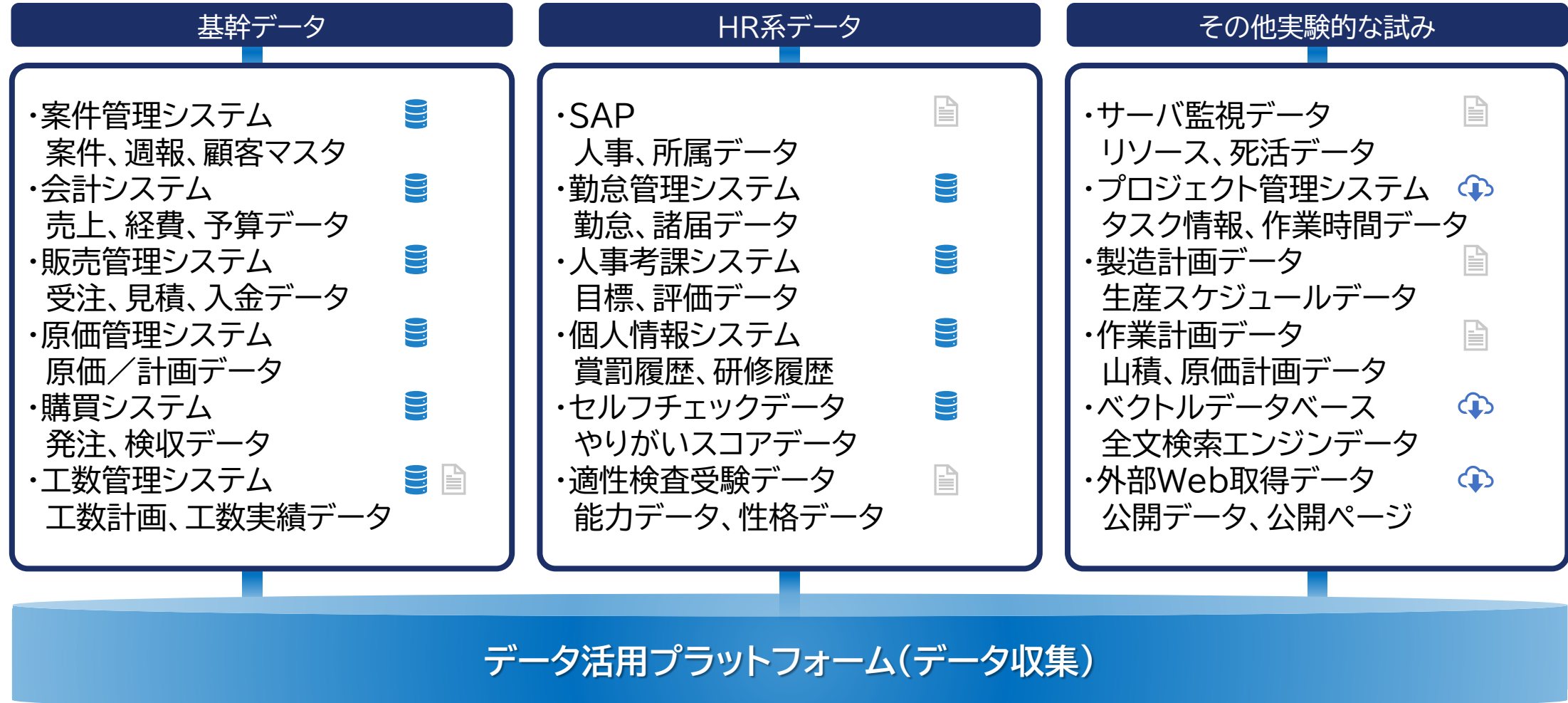
 三井E&Sシステム技研株式会社



社内活用事例

社内活用事例)データ活用プラットフォームに連携しているデータ

データ活用プラットフォーム連携データ



データ活用プラットフォームコンテンツツ例

Step1:気づき

アラートから気づきを得る

Step2:可視化

データを可視化し
事実を“**深**”掘りする

Step3:分析

自ら分析して“**真**”実を知る
“**新**”しい発見がある

シンプルな可視化

より複雑な分析

用途1
組織向け
テンプレート



受注達成度



売上達成度



受注×仕事量

定例会議の資料などの組織向けのアウトプットを提供。同じデータで目線をそろえた議論が可能

用途2
個人向け
ダッシュボード



営業マイページ



技術マイページ

デフォルトのダッシュボードもあり(マイページ)



ユーザーが自由に組み合わせてダッシュボードを作成可能

自分の見たいコンテンツを組み合わせて、個人向けのダッシュボードの作成やカスタマイズ・共有が可能

データ活用プラットフォームコンテンツ例:受注×仕事量シミュレーションボード

<< BACK [User Icon] [Search Icon] [Star Icon] [HELP]

[XX向け] 受注×仕事量シミュレーション_v8_FB修正 /データ活用PF/30_work/#xxx_ソリューションフェア2024/work/受注工数/受注×仕事量シミュレーション

案件の受注高と、案件によって確保できる仕事量のバランスをシミュレーションできます。
開発部署の仕事量を適正に保ったまま受注目標を達成するために、製品・ソリューションごとに追加で受注する必要があるかを検討しましょう。

受注年度 2024年度

①ストレッチ目標入力
単位は(百万)です。

目標リセット ②入力値を保存

受注年度	2024年度							
受注四半期	3Q				4Q			
製品・ソリューション	受注高_目標	代金	ストレッチ値	代金_合計	受注高_目標	代金	ストレッチ値	代金_合計
クラウドサービス		80.8	0.0	80.8		458.1	50.0	508.1
ソフト開発 基幹業務		456.3	0.0	456.3		592.9	100.0	692.9
ソフト開発 製造		698.4	0.0	698.4		566.1	100.0	666.1
保守サービス		32.0	0.0	32.0		80.3	0.0	80.3
機器販売 PC・周辺機器		648.2	100.0	748.2		793.0	50.0	843.0
総合計	20.0	1,915.5	100.0	2,015.5	27.0	2,490.3	300.0	2,790.3

最終更新: デュエーザ 2024/10/05

受注年度 2024年度

製品・ソリューション	受注高_目標	代金	ストレッチ値	代金_合計
クラウドサービス		80.8	0.0	80.8
ソフト開発		456.3	0.0	456.3
保守サービス		32.0	0.0	32.0
総合計		748.2		748.2

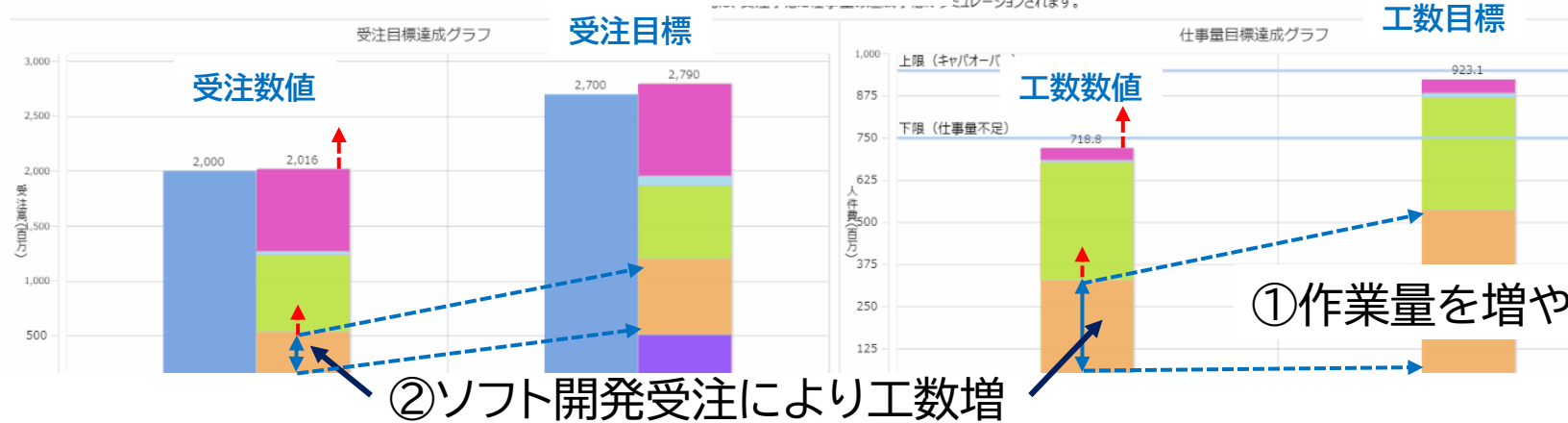
③目標値のウエイトをソフト開発に寄せ、受注活動の『行動を変革』する

01 足りない状況を気づく仕組みとして活用

02 数値を変化させ影響や注力すべきことを把握

03 注力すべきことへの行動を開始(行動変革)

②どのカテゴリの数値(『影響』)をあげるか

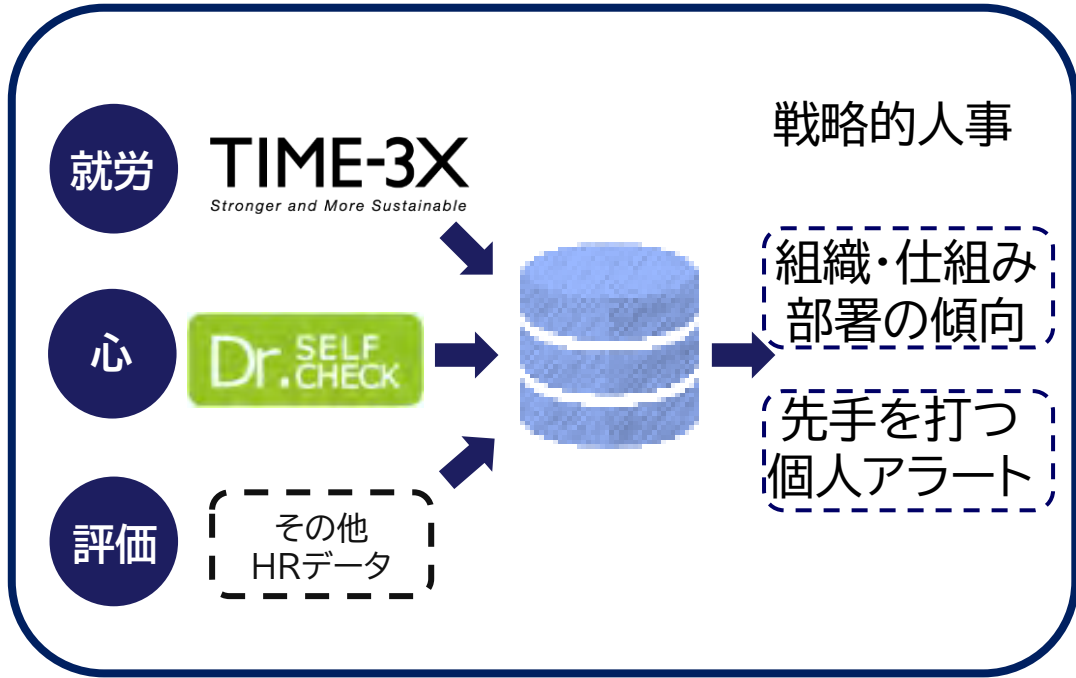


01 足りない状況を気づく仕組みとして活用

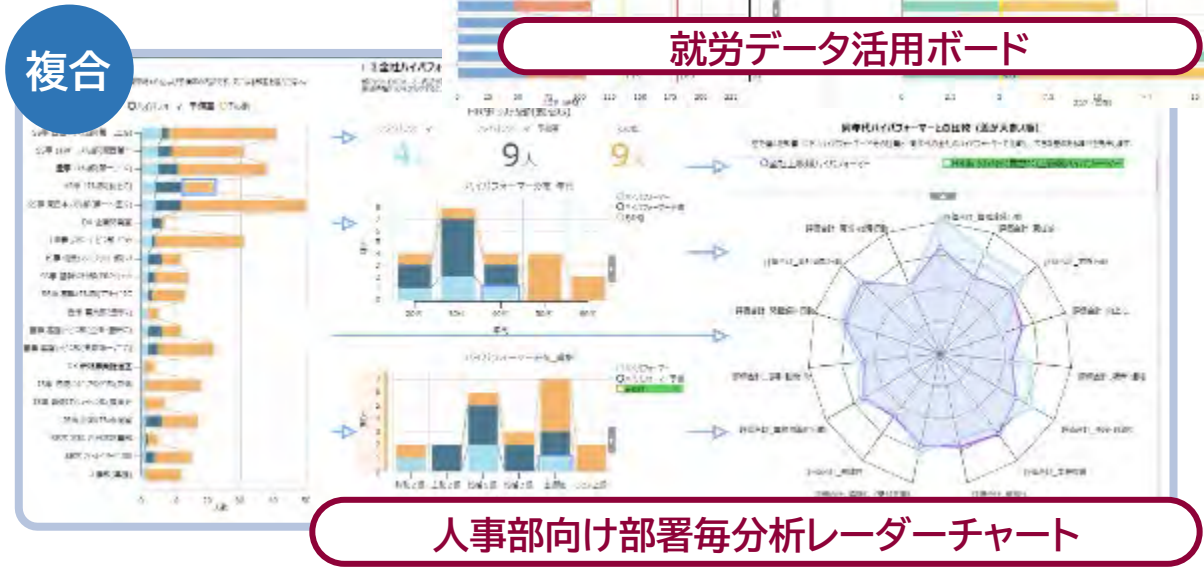
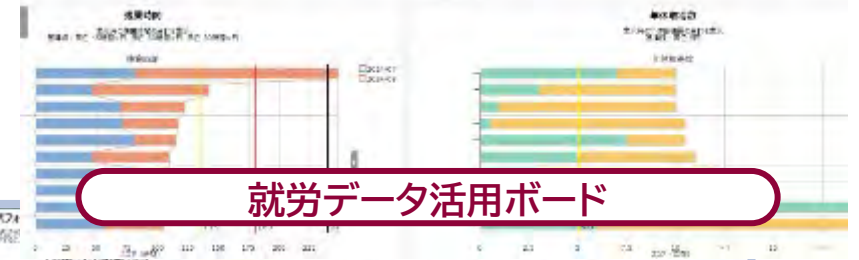
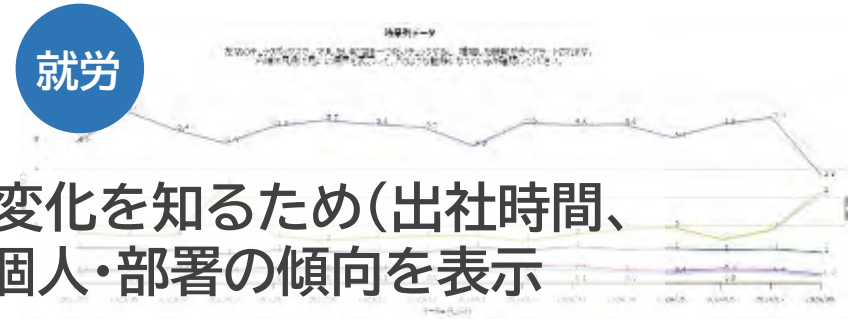
02 数値を変化させ影響や注力すべきことを把握

03 注力すべきことへの行動を開始(行動変革)

データ活用プラットフォームコンテンツツ例:HR領域でのデータ活用

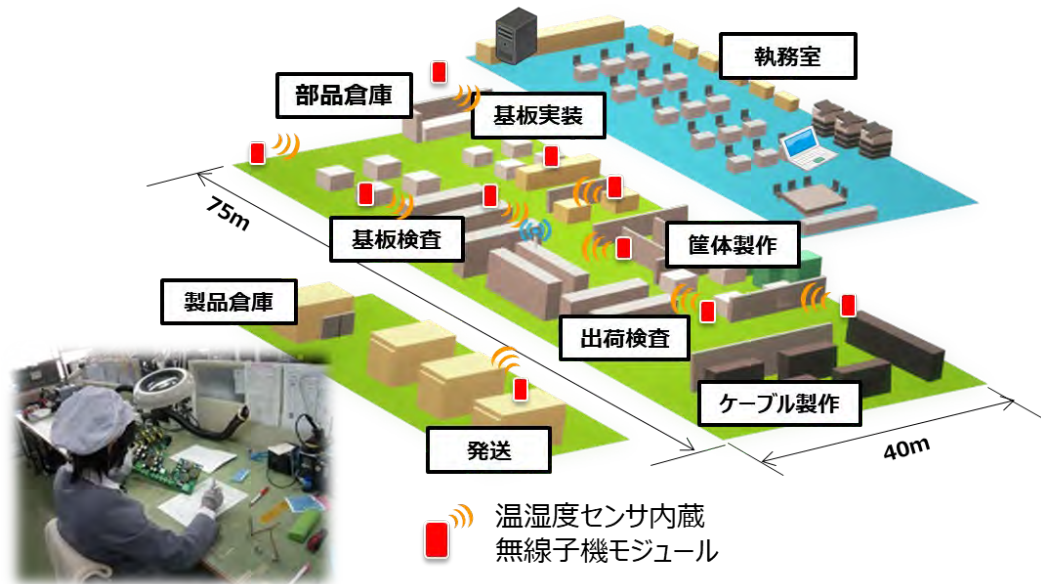


就労データだけでなく、ストレスや人事評価データを選択し人事目線で分析



データ活用プラットフォームコンテンツ例:IoTゲートウェイとMotionBoardを連携した温湿度管理

社内の電子機器製造現場にて手作業で行っていた温湿度管理をシステム化。IoTゲートウェイ(データ収集装置)にて温湿度データを24時間自動収集し、工場全体の温湿度データのリアルタイム表示やトレンドグラフ表示を実現



IoTゲートウェイにて
温湿度データを収集



MotionBoardで
見える化

作業効率化
信頼性向上

温湿度データの自動収集

- 人手によるデータ収集がなくなり工数削減
- 夜間休日などの工場に人がいないときにデータ収集を実現
- チェック時のみのデータ⇒24時間365日のデータ
- 手動から自動に変わったことでの記録忘れ、転記ミスなどがなくなり信頼性が向上

作業工数削減
早期異常検知

温湿度状況の見える化

- 温湿度状況のトレンド確認や異常確認が簡単にできるようになった。
- 過去データの参照時間が大幅に短縮
- 異常データ発生時のメール通知による異常の早期発見



社外導入事例

大手製造業様 構内物流整流化への取り組み

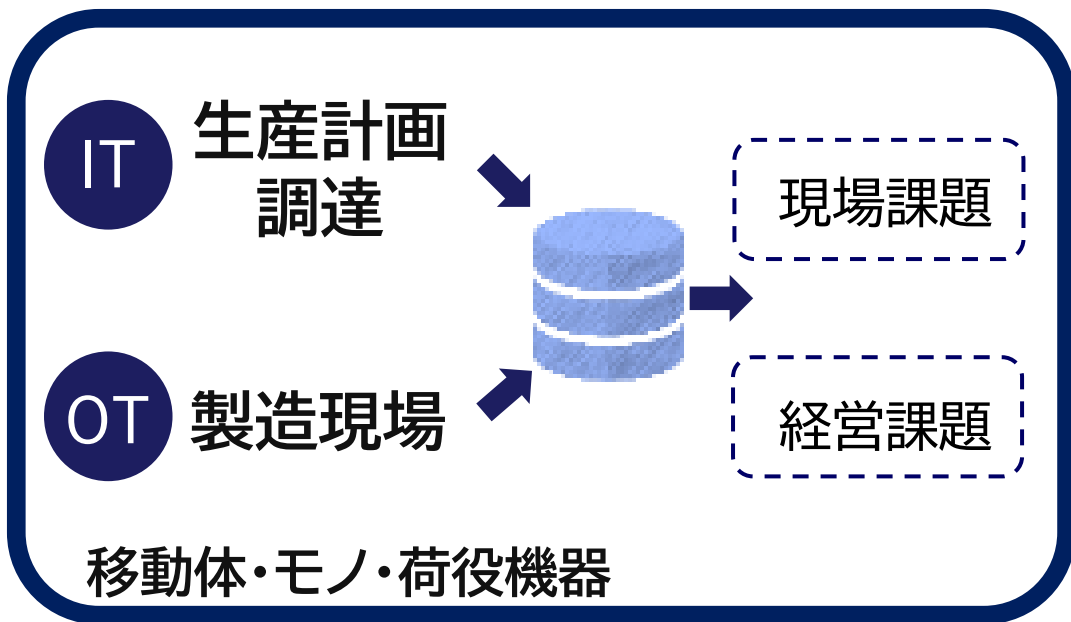
製造業

現場課題の可視化

様々なデバイスで【モノ】の状態と
様々なデータから【コト】の情報をつなぎ暗黙知を可視化



課題
・物流整流化、生産量調整、多能工化



大型製造物(モノに焦点)の
位置と様々なデータを組合わせ
工程間の滞留や作業状況を把握することで、
構内物流における整流化・最適化を目指す



導入事例①

大手リース会社様 新会計システム導入

金融業

グループ経営の可視化

日々の最新情報に基づく経営状況や財務諸表のモニタリング、分析、レポート化をスピーディに実施し、企業グループ全体としての意思決定の迅速化を実現

基盤 AWS
DB Dr.SUM

連携 DataSpider
BI Datalizer for Web

導入背景

- 既存会計システムから新たな会計システムとして、SS-NX統合会計および、SS-NXグループ経営管理(GM)を導入。
- GMの標準モジュールでは分析できない迅速な経営判断に活かせる経営ダッシュボードが必要。

導入ポイント

- GMモジュールと切り離してダッシュボードを構築することで、柔軟な構築が可能
- 大量(月次約500万)のデータ連携処理を行うため、データ連携時に必要なデータ加工をDr.Sumで実施し、処理の負荷を軽減
- Datalizer for Webを導入することで、各ユーザがWebからExcelライクにデータ分析を行うことが可能なため、分析用途に応じた利用が可能

導入効果

- 連結決算資料作成の迅速化(CF増減明細、物件新規開始実行高など)
- 経理作成資料の簡素化(未払・入金・支払情報などの月次集計など)
- 帳票の標準化(勘定元帳をベースとした目的別レポートの標準化など)

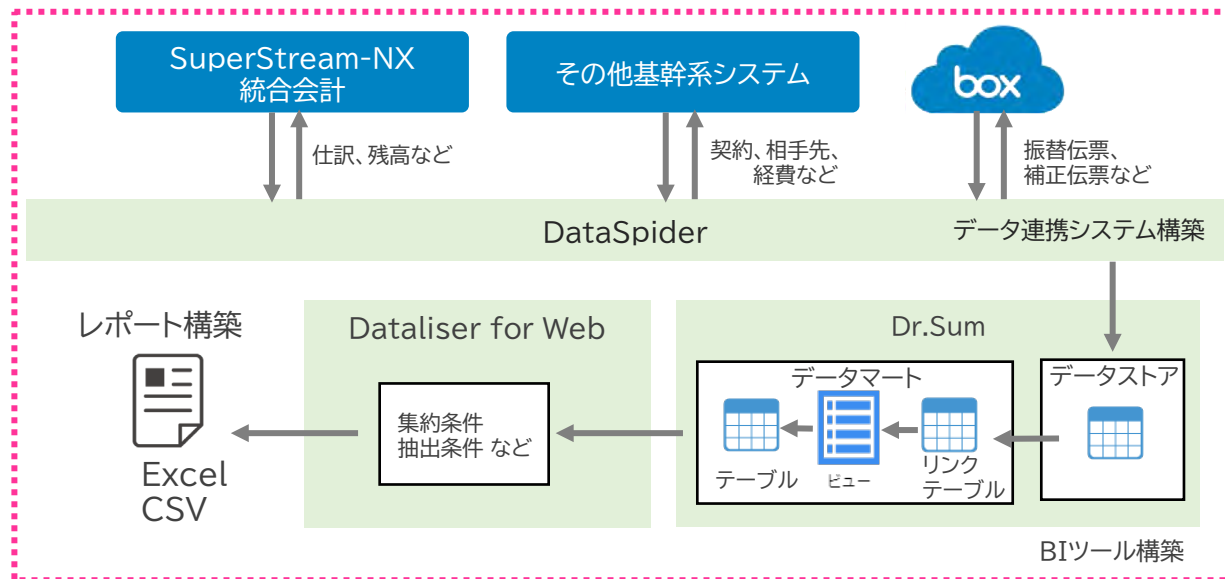


SuperStream-NX グループ経営管理



グループ経営管理 拡張分析基盤構築

グループ全体の
経営状況を一目で
可視化



導入事例②

大手運輸倉庫会社様 経営分析基盤構築

運輸倉庫業

経営数値の可視化

各営業所の経営数値(予算、当期実績、前期比、予算比)データを利用した可視化
会議資料作成の自動化を実現

基盤 AWS

連携 AWS Glue

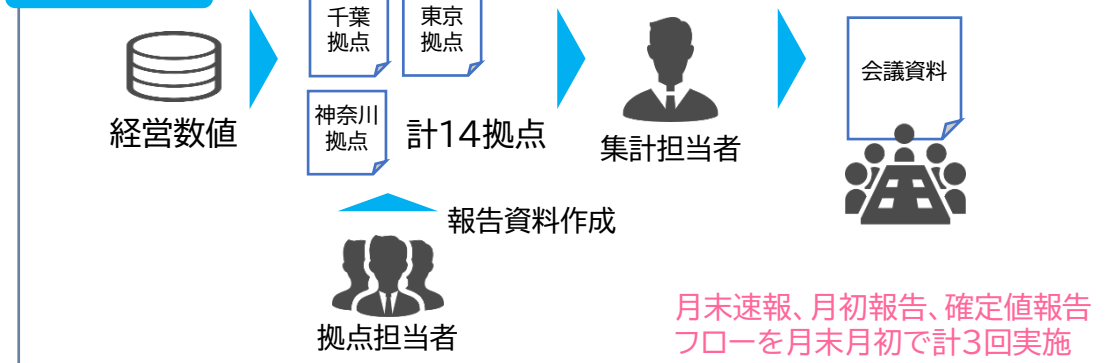
DB AWS Athena

BI AWS QuickSight

導入背景

- 経営数値を把握するため、営業所長および集計担当者が手作業で月末速報、月初報告、確定値報告として月に3回取り纏めているが、集計作業に毎月約200時間の作業がかかり、業績を把握するのに多くのコストが発生。また、集計担当者が属人化しており、限られたメンバーしか対応ができない。
- 本来は月に3回ではなく、最新の各営業所の業績状況、会社全体での業績状況を 都度把握したいが、タイムリーに情報収集する仕組みがなく、月末月初の経営数値を報告する限られたタイミングでしか業績状況を把握することができない。

従来



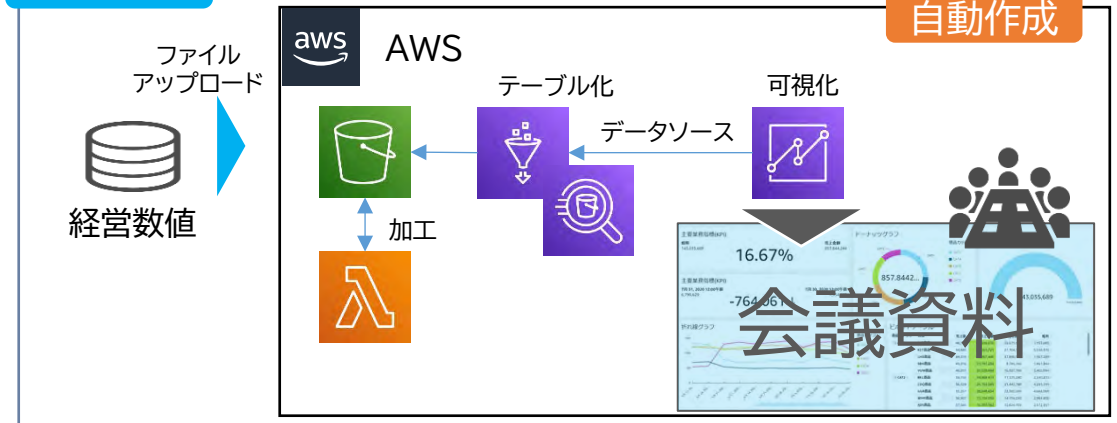
導入ポイント

- 各営業所でExcelにて作成し、手入力していた資料作成に必要な数値を基幹システムより出力、アップロードすることで自動化を実現
- AWS QuickSightを利用することで低コストかつスピーディーに導入を実現

導入効果

- 資料の自動化を実現することにより、資料作成時間の縮小を実現。資料作成の時間を施策検討の時間に充当
- 今後、勤怠データや工数データを利用した労務費の見える化等、見える化の範囲を拡大予定

導入後



導入事例③

大手製造業様 製品コスト管理の可視化とシミュレーション

製造業

製品コストデータの可視化

原価算定のエクセル業務について、データが見える化(ダッシュボード化)することで、業務効率化と意思決定のスピードアップを実現

基盤 Azure 連携 —
DB PostgreSQL BI MotionBoard

導入背景

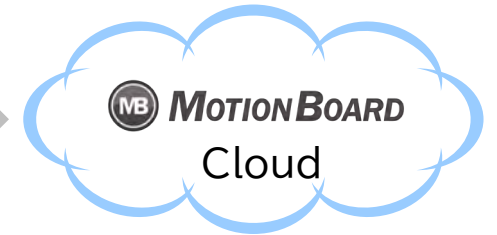
- 製品コスト(原価)情報が社内に散在しており、エクセルでの集約作業に時間がかかっていたことから、意思決定に時間を要していた。
- エクセルでの管理手法となっていたため、処理が複雑で工数増、作業属人化も進んでいた。結果もクローズドとなっており、共有がしにくい状態となっていた。

導入ポイント

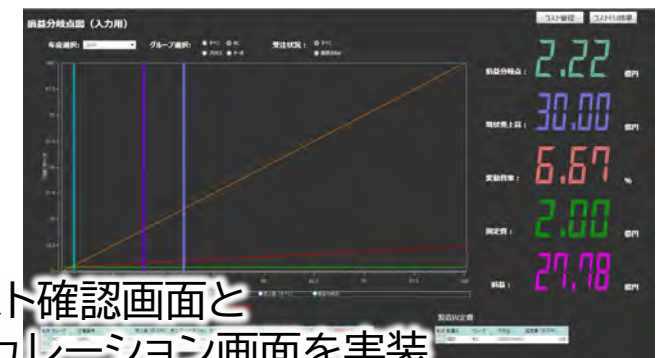
- 中心となる製品コスト管理システムのデータと原価算出に必要な情報をMBCloudに集約、あわせて業務担当者がエクセルと頭の中で個別に行っていたコストシミュレーションをロジック化し、ダッシュボード上で実現
- データの見える化にあわせて、エクセル作業での非効率な作業も効率化

導入効果

- コスト計算に必要な情報の自動参照などにより、エクセル作業に比べて大幅な作業効率化が実現。また作業結果を共有しやすくなった。⇒意思決定が速くなった。
- コストシミュレーションが画面上で行えるようになり、作業内容の平準化と作業の効率化につながった。



製品コスト管理システムDBより必要なデータをMBCloudへ連携(労務費、外注費、経費など)



製品コスト確認画面と
損益分岐点のシミュレーション画面を実装

導入事例④

大手製造業様 データ活用基盤構築に向けたデータマートの構築

製造業

SAPデータの可視化

SAPやSalesforceなどの社内基盤データを集約・活用できる全社データ活用基盤の構築に向けたPoCを実施

基盤 AWS

DWH ClickHouse

DB SQLServer

BI Tableau

導入背景

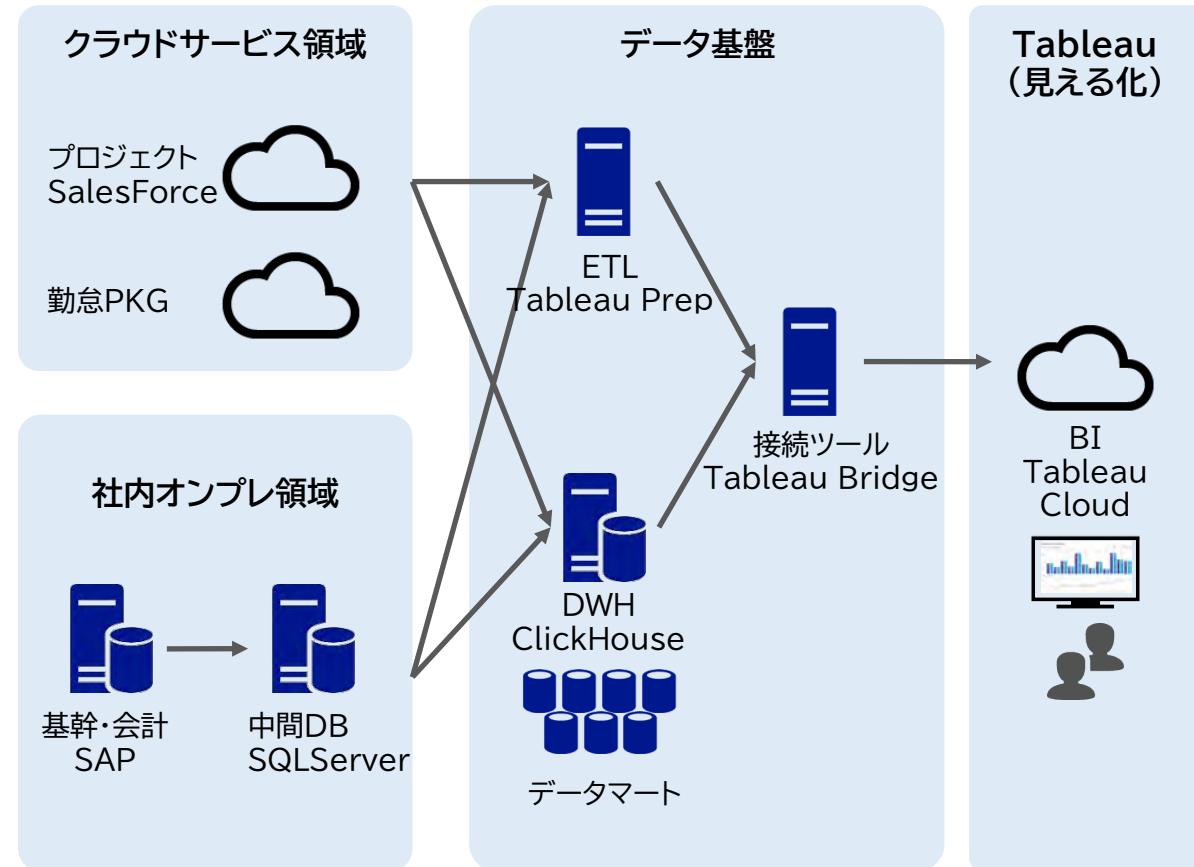
- SAPのデータ集計、見える化をTableauを利用して取り組みはじめていたが、生データの公開だけでは利用者にハードルが高くなり、データマートの必要性を感じていた。ただし、データマートをどのように構築していけばよいかのノウハウがなく悩んでいた。

導入ポイント

- 社内データ活用(利用シーンや利用方法)の要件整理にあわせて、要件を実現できる対応方法や技術検証を並行して行った。
- PoCではOSSのデータウェアハウス(DWH)を利用することで、コストを小さくスピーディーにデータマートを構築し、検証を行った。

導入効果

- PoCによるスモールスタートでスピーディーなデータマート構築を行うことで、データ利用者の反応も見ながら、データ活用基盤の実装と検証が効率的に行えた。
- PoCを行うことでデータ活用基盤に必要な機能、性能などが見極められ、本格的なデータ活用基盤構築に無駄なくスムーズに着手できることとなった。



導入事例⑤

地方製造業様 工場内データと経営数値の見える化

製造業

工場、経営数値の可視化

社内DXの一環として取り組んだ社内データの見える化について、工場内の設備稼働状況と経営数値の見える化ダッシュボード開発を支援

基盤 オンプレ

連携 ー

DB CSV

BI MotionBoard

導入背景

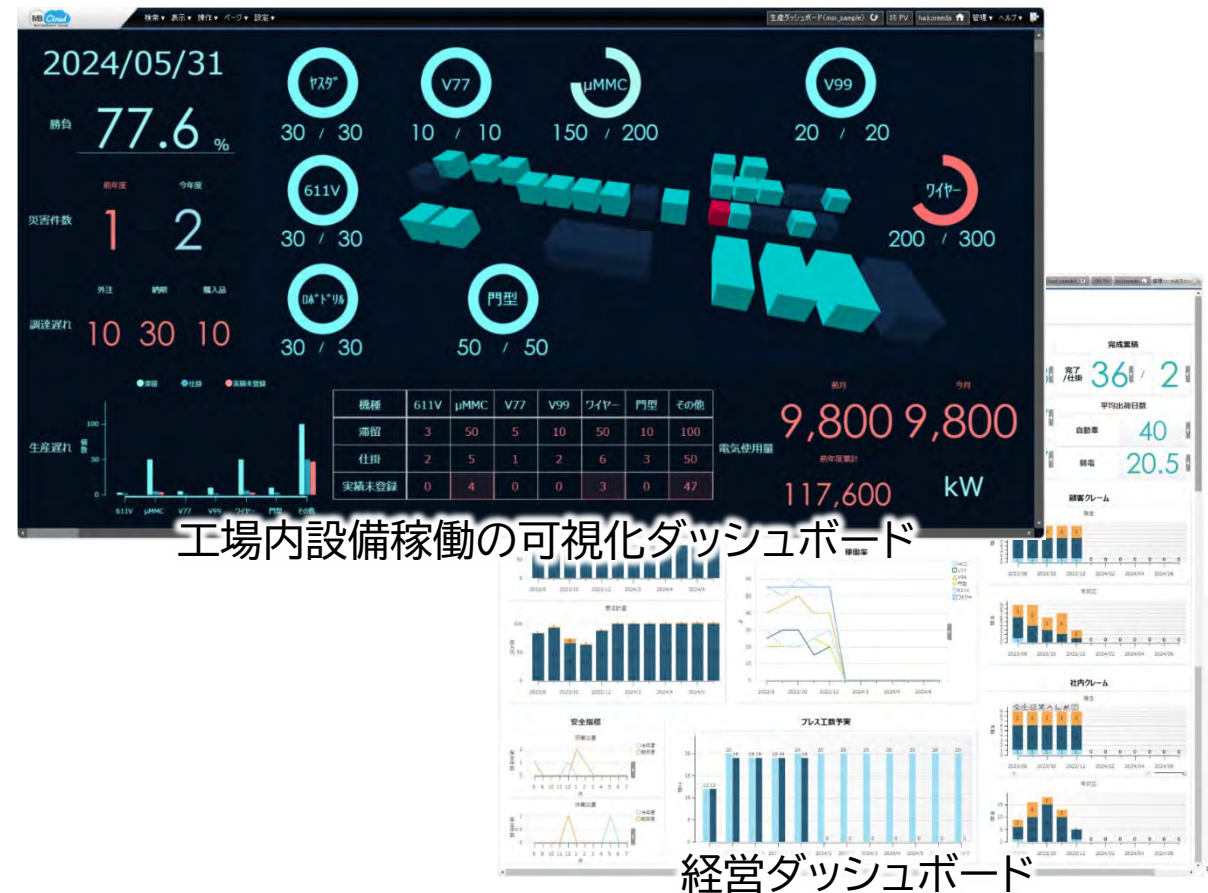
- 工場運用や経営判断が感覚的な運用になっており、データドリブン運営・経営ができていなかった。
- 工場内の生産においては、システムや機器が最低限稼働しているもの、生産性や稼働状況を確認できるものはなく、データの活用が全くできていなかった。
- 経営面においても、数値管理がエクセルベースとなっており、経営層やマネージャー層がすぐにデータを確認できる術もなかった。

導入ポイント

- MotionBoardクラウド版を利用して、本格的な実装前にデータの見える化(ダッシュボード)の具体的なイメージ(ダッシュボードの試作版)を見せることで、経営層や現場メンバーにデータ活用の目的や意味を理解してもらった。

導入効果

- データの見える化により、客観的な数値に基づく運用、経営判断につながった。
- 事前の具体的なデータ活用イメージを伝えることで、関係者に目的意識や効果の具体的なイメージが生まれ、プロジェクトがスムーズに進んだ。
- コストを抑えた社内データ活用をスピーディーにスタートさせることができた。



工場内設備稼働の可視化ダッシュボード

経営ダッシュボード